

研究所調査記録

覚順寺（真宗大谷派） 愛知県岩倉市

二〇〇八年八月十八日（安藤 飯田 伊奈）

* 稲葉圓成藏書の調査整理（今後も継続予定）。

圓宮寺（真宗大谷派） 福井県越前市

二〇〇八年九月八日調査

（小島 小山 渡辺 青木 安藤 飯田 伊奈）

（一）画像・名号・木像

1 六字名号 紙本墨書 一幅 戦国時代

縦八九・二cm×横三二・八cm

* 寺伝では本願寺蓮如筆であるが、「南無」が連続する、「阿」も連続する、「弥」のへん・つくりの大小があるなどの特徴から、

本願寺実如筆とみられる。

2 聖徳太子像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦一〇六・六cm×横四九・七cm 寛永十二年（一六三三）

上部讚銘「大慈大悲本誓願／愍念衆生如一子／是故方便從西方／

誕生片州興正法」

裏書（縦六五・五cm×横二六・六cm）

「 本願寺釈宣如（花押）

寛永十貳乙 暮小陽二日 書之

越前国丹生郡府中

上宮太子真影

圓宮寺常住物

願主釈文嘉」

3 七高僧像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦一〇六・五cm×横四九・六cm

七祖銘「龍樹菩薩 善導大師 源空上人

曇鸞和尚

天親菩薩 道綽禪師 源信和尚

裏書(六六・八cm×横二二・二cm)

「 宣如(花押)

「 歳初冬二日 書之



三朝高祖□□



願主

積文□□

大應供院

圓宮寺什物也

願主 誓應

寄進人 樹心

恵朝

5 方便法身尊像 絹本着色 一幅 (戦国時代)

縦八二・〇cm×横三三・二cm 光明総計四八本 上八・下一〇

総高五二・三cm 身高三九・八cm 顔高八・〇cm 顔幅七・四cm

光輪幅一八・〇cm 肩幅一三・七cm 裾幅一五・二cm 雷紋

裏書(縦四五・八cm×横一六・二cm)

「 如」



「(ほとんど読めない)

*一貫代。胴体光背以外後補彩あり。

4 玄如・融如連坐像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦一一・一cm×横五一・四cm 宝暦八年(一七五八)

銘「玄如上人」「融如上人」

裏書(直書)

「 本願寺釈徒如(朱角印)

入定聚院 宝暦八戊寅年八月十七日

双座御影 越前国坂井郡府中

6 六字名号 紙本墨書 一幅 戦国時代

縦四五・三cm×横一八・二cm

*伝蓮如筆(実如筆と推定)。

7 六字名号 紙本墨書 一幅

縦五二・六cm×横一六・五cm 左下に「五才」

*伝蓮如筆。幼児名号といわれるもの。

*以上三点一括に添状あり。「円宮寺門徒 高橋八兵衛家本尊
阿弥陀様絵像(大) 一幅 蓮如六字名号二軸 (以下略)」

8 聖徳太子木像(孝養像) 一軀

(二) 文書・記録・縁起

9 本願寺顕如書状 紙本墨書 一通 戦国時代

縦一四・二cm×横三三・九cm

「弥生十七日 顕如(花押)」↓「玄順房」

*元は折り畳まれていた。

10 本願寺顕如書状 紙本墨書 一通 戦国時代

縦一一・五cm×横四七・六cm

「十月廿四日 顕如(花押)」↓「越前/惣門徒中へ」

*元は折り畳まれていた。天正二年(一五七四)と推定されてい

る。

11 東本願寺宣如書状 紙本墨書 一通 江戸時代

縦一六・六cm×横八六・四cm

「三月三日 宣如(天狗花押)」↓「越前大塩/円宮寺/門徒衆中」

12 松尾左近書状 紙本墨書 一通 江戸時代

縦一七・九cm×横五〇・六cm 包紙上書「越前 圓宮寺」

「八月二日 松尾左近元信花押」↓「越前符中/惣坊主衆中」

13 松尾左近書状写 紙本墨書 一通 江戸時代

縦一五・八cm×横五一・九cm 包紙上書「越前 圓宮寺」

「八月二日 松尾左近元信花押」↓「越前符中/惣坊主衆中」

*12の写し。冒頭に「端書無之候」とあり。

14 石井隼人・粟津勝兵衛連署状 紙本墨書 一通 江戸時代

縦一八・六cm×横四九・四cm 包紙上書「越前 圓宮寺」

「貞享四年卯四月十日/石井隼人正久(花押)/粟津勝兵衛元知

(花押)」↓「越前丹生郡/府中/圓宮寺/願主/誓運」(貞享四

年一六八七)

15 飼田大膳・下間大藏卿法橋連署状 紙本墨書 一通 江戸時代

縦一九・五cm×横四九・五cm 包紙上書「越前 圓宮寺」

「宝曆九年四月十五日/飼田大膳辰好(花押)/下間大藏卿法橋

頼俊(花押)」↓「越前国南條郡/府中/圓宮寺/廿八日講中」

(宝曆九年一七五九)

16 寺領屋敷証文写 紙本墨書 一通 江戸時代

縦三〇・一 cm×横四〇・四 cm

「貞享三年寅閏三月／温谷村圓宮寺印／同村寺頭橋本善左衛門印
／同長百姓長左衛門印／同市郎兵衛印／同庄屋助右衛門印」(貞
享三年＝一六八六)

忝督(花押)「(文政十三年＝一八三〇)

20 圓宮寺門徒連判状(御約定申置一札之事) 紙本墨書 一通

江戸時代 縦三二・八 cm×横一八三八・九 cm

「天保九戌戌年九月日 花曜山御門徒／御肝煎世話方／次第不同
／町在／龜屋町助大夫(黒印)(以下略：全一〇〇人)」(天保九
年＝一八三八)

17 梵鐘銘文写 紙本墨書 二枚 江戸時代

①縦三〇・四 cm×横四二・二 cm ②縦三〇・四 cm×横四二・三 cm

①「元禄元戊辰曆／首夏廿五日」「大塩山圓宮寺／府中三世／默安
律師誌之」「冶工／越前吉田郡芝原住／藤原朝臣渡辺藤兵衛尉
／家次」「鑄工／符住／兼植大代元全」(元禄元年＝一六八八)

*①②ともに裏にも墨付あり

21 口宣案 紙本墨書(宿紙) 一通 江戸時代

縦三五・四 cm×横四六・五 cm 慶長十三年(一六〇八)四月十日
「上卿勸修寺中納言」「大法師 廻了」「宜叙法橋」「藏人權右少
弁藤原共房」 端裏書「口宣案」

18 圓宮寺申状(差上申一札之事) 紙本墨書 一通 江戸時代

縦三二・六 cm×横四五・六 cm

「享保七年壬寅年四月 府中 圓宮寺」(享保七年＝一七四四)

22 宣旨 紙本墨書(壇紙) 一通 江戸時代

縦六〇・六 cm×横三八・二 cm 慶長十三年(一六〇八)四月十日
「大法師 廻了」↑「中務大輔兼右大夫小槻宿祿(花押)」

19 浄秀寺・圓宮寺等連署証文(一味同心之事) 紙本墨書 一通

江戸時代 縦三〇・四 cm×横四〇・〇 cm

「文政十三庚寅年／閏三月廿八日」「浄秀寺慧嚴(花押)／圓宮寺
誓船(花押)／報恩寺良恵(花押)／圓徳寺恵船(花押)／正願寺

23 口宣案 紙本墨書(宿紙) 一通 江戸時代

縦四六・八 cm×横三五・五 cm 慶長十四年(一六〇九)八月二十
日「上卿葉室中納言」「法橋廻了」「宜叙法眼」「藏人權右少弁藤
原共房」 端裏書「口宣案」

- 24 宣旨 紙本墨書(壇紙) 一通 江戸時代
 縱六〇・八 cm×横三八・一 cm 慶長十四年(二六〇九)八月二十日
 「法橋廻了」↑「中務大輔兼右大夫小槻宿祢(花押)」
- 25 口宣案 紙本墨書(宿紙) 一通 江戸時代
 縱四六・六 cm×横三五・五 cm 慶長十六年(二六一一)正月廿八日
 「上卿日野大納言」「法眼廻了」「宜叙法印」「藏人權右少弁藤原共房」 端裏書「口宣案」
- 26 宣旨 紙本墨書(壇紙) 一通 江戸時代
 縱六〇・八 cm×横三八・一 cm 慶長十六年(二六一一)正月廿八日
 「法眼廻了」↑「中務大輔兼右大夫小槻宿祢(花押)」
- 27 口宣案 紙本墨書(宿紙) 一通 江戸時代
 縱五二・八 cm×横三三・七 cm 延宝五年(一六七七)三月十二日
 「上卿勸修寺中納言」「誓運」「宜任權律師」「藏人頭右大弁藤原淳房」 端裏書「口宣案」
- 28 宣旨 紙本墨書(壇紙) 一通 江戸時代
 縱五七・七 cm×横三四・〇 cm 延宝五年(一六七七)三月十二日
 「誓運」↑「主殿頭兼左大史小槻宿祢(花押)」
- 29 口宣案 紙本墨書(宿紙) 一通 江戸時代
 縱五二・八 cm×横三三・七 cm 正徳六年(一七一六)三月九日
 「上卿鷲尾大納言」「誓順」「宜任權律師」「藏人權右少弁兼左衛門權左藤原敬孝」 端裏書「口宣案」
- 30 宣旨 紙本墨書(壇紙) 一通 江戸時代
 縱五三・〇 cm×横三八・八 cm 正徳六年(一七一六)三月九日
 「誓順」↑「修理東大寺大仏長官主殿頭兼左大史小槻宿祢(花押)」
- 31 口宣案 紙本墨書(宿紙) 一通 江戸時代
 縱五二・一 cm×横三四・二 cm 寛保元年(一七四一)四月十二日
 「上卿坊城大納言」「誓應」「宜任權律師」「藏人頭右大弁藤原顯道」 端裏書「口宣案」
- 32 宣旨 紙本墨書(壇紙) 一通 江戸時代
 縱五八・三 cm×横三七・六 cm 寛保元年(一七四一)四月十二日
 「誓應」↑「修理東大寺大仏長官主殿頭兼左大史竿博士小槻宿祢(花押)」
- 33 法名狀 一通 江戸時代
 縱三七・三 cm×横三〇・二 cm 享保二年(一七一七)五月九日

「釈誓應」↑「釈真如(花押)」

34 円宮寺由緒書(冊子) 袋綴一冊(墨付五枚) 江戸時代

縦三二・八cm×横二三・〇cm 正徳二年(一七一二)

書出「越前国南条郡(割註省略)府中円宮寺開闢者…」

35 大塩山圓宮寺由緒記(冊子) 袋綴一冊(墨付九枚・遊紙二枚)

江戸時代 縦三二・六cm×横二二・七cm

題「大塩山圓宮寺由緒記」

36 円宮寺開基由緒書(巻紙) 一卷 江戸時代

縦三二・二cm×横一三二・三cm 享保七年(一七三二)二月

題「円宮寺開基由緒書」

* 同文でもう一通あり(縦九八・一cm×横三二・二cm)

37 聖徳太子略縁起(巻紙) 一卷 江戸時代

縦一九・一cm×横一六三・五cm

38 聖徳太子霊像略縁起(巻紙) 一卷 江戸時代

縦二四・二cm×横六五・四cm

39 円宮寺由緒書(草稿・巻紙) 一卷 江戸時代

縦二七・六cm×横二四一・八cm 朱筆訂正が多数あり

書出「一越前国圓宮寺、往古者天台宗…」

40 玄如・融如連坐像略縁起(断簡) 一枚 江戸時代

縦三二・四cm×横二四・五cm

41 圓宮寺第三世了観・寛了・誓応事績書付 一枚 江戸時代

縦三三・六cm×横三三・五cm

42 口上之覚写 一通 江戸時代

縦三二・七cm×横一二八・二cm 宝暦十一年(一七六一)四月

題「口上之覚」 「越前府中 圓宮寺」

43 口上覚 一通 江戸時代

縦三一・五cm×横一〇二・五cm 宝暦七年(一七五七)七月二日

題「口上覚」 「越前府中/圓宮寺/誓應(花押)」↓「集会所

月番御衆中」

* 同文でもう一通あり。

44 口上覚(院家昇進) 一通 江戸時代

縦一九・三 cm×横一三九・三 cm 天保五年（一八三四）四月
題「御歎奉申上口上覚」 貼紙「再応御歎奉申上口上覚」

45 書付（今般拙寺儀） 一枚 江戸時代

縦一六・五 cm×横三二・一 cm

本山誠照寺（真宗誠照寺派） 福井県鯖江市

二〇〇八年九月九日調査

（小島 小山 渡辺 青木 安藤 飯田 伊奈）

*約一五〇点の史料を調査（第一回調査。今後も継続予定）。

願生寺（真宗誠照寺派） 福井県鯖江市

二〇〇八年九月九日調査

（小山 渡辺 青木 安藤 飯田 伊奈）

1 方便法身尊像 一幅 絹本着色 縦七〇・八 cm×横三一・六 cm

総高五四・六 cm 身高四九・八 cm 顔高八・〇 cm 顔幅七・一 cm

光輪幅一八・〇 cm 肩幅一四・五 cm 裾幅一六・四 cm

光明 上七本・下一本 総計四八本

*顔面・胸部・右手の金泥後補で、左手・両足は当初の金泥か。

2 方便法身尊像 一幅 絹本着色 縦八三・四 cm×横三三・七 cm

総高六九・二 cm 身高五二・〇 cm 顔高九・六 cm 顔幅九・一 cm

光輪幅二二・六 cm 肩幅一六・七 cm 裾幅一八・六 cm

光明 上九本・下八本 総計四八本 袈裟紋様は後補。

3 十字名号 一幅 絹本着色 縦九二・〇 cm×横三四・九 cm

「帰命盡十方無導光如来」 光明 上七本・下七本 総計四五本

*名号・蓮台の金泥は剥落、光芒には金泥が残存。河端常楽寺

（現在は廃寺）の旧蔵で、同寺の鯖江講中門徒が願生寺に納める。

4 方便法身尊像 額装 絹本着色 縦八〇・四 cm×横三六・三 cm

総高六九・〇 cm 身高五二・三 cm 顔高九・五 cm 顔幅九・一 cm

光輪幅二三・四 cm 肩幅一七・〇 cm 裾幅二〇・一 cm

光明 上一本・下九本 総計四八本

*袈裟田相部は雷紋。本紙の上下左右は切断の可能性がある。

祐誓寺（真宗大谷派） 愛知県名古屋

二〇〇八年九月十七日～十九日調査

（渡辺 安藤 飯田 伊奈ほか調査協力員三名）

*住田智見蔵書の調査整理（今後も継続予定）。

極楽寺（真宗大谷派） 愛知県一宮市

二〇〇八年十二月二日調査（安藤）

1 方便法身尊像 一幅 永正十七年（一五二〇）

縦八二・四 cm × 横三二・六 cm 光明 総計四八本 上六・下一〇

総高五二・二 cm 身高三七・八 cm 光輪幅一九・〇 cm

顔幅六・五 cm 肩幅一三・六 cm 裾幅一五・〇 cm 雷紋

（裏書）縦五一・七 cm × 横二五・六 cm

「□□（墨付痕跡） □（墨付あり）〔釈〕カ」

永正□□季庚辰三月廿五日也

□²⁾ 安賀聖徳寺門徒尾州

⁽³⁴⁾
身尊像

中嶋郡加賀野井郷

願主積□□（下部切断カ）

2 聖徳太子絵伝 四幅 （江戸時代後期）

縦一三六・六 cm × 横七九・五 cm

木箱上書「聖徳皇太子御絵伝 四幅入」

* 太子講式一卷（縦三四・五 cm）もあり。

3 親鸞分骨譲り状 一通 宝永八年（一七一二）

縦三〇・二 cm × 横四二・四 cm

（翻刻）

「 御骨譲状之事

一 祖師聖人御骨 一粒

右者、洛陽専龍寺代々安置有之、

然る所天正五年丁丑三月廿八日、寺主

祐賢師より当寺第三世法持房浄賢

と師弟たるによりて授与し給ふ

夫より当寺に安置する事、百三十拾

五年也、今般貴房任懇望、再

分与して授之者也、

勢州桑名郡大嶋村

長圓寺第七世

宝永八年三月十日 栄玄（花押）

濃州加賀野井村

太子堂極楽寺龍長御坊

* 35 は卷子一幅に同装。また、35 に対応して各々「祖師

聖人御骨」「八代蓮如上人御骨」「十二代教如上人御骨」「元祖

法然上人御骨」が舍利器に収められ納骨堂内にある。

4 蓮如・教如分骨譲り状 一通 宝永八年（二七二）

縦二八・八cm×横三七・〇cm

（翻刻）

「一蓮如上人御骨を明応八年三月廿五日、於

山科御坊御遷化御葬礼之節、山科庄

西之村九兵へ先祖茶毘所之御番相勤

彼家二代々致安置候、仍之、近年致懇望

当寺へ申請候にて、此度令分与者也、

一教如上人御骨を寛永十三年御影御免

候折節、妙玄院殿より令拝領、御影之

御身ニ塗候て其願在之候ニ付、今度令

分与者也

城州伏見庄

西方寺（黒印）

宝永八年辛卯年

律師空恵（花押）

四月十四日

濃州

極楽寺殿

*文中の「妙玄院」は教如室如空尼（『大谷嫡流実記』より）

5 法然分骨譲り状 一通 元治元年（一八六四）

縦三〇・二cm×横四五・二cm

（翻刻）

「濃州厚見郡岐阜

浄土宗西山流

誓安寺

從往古安置在之候

元祖上人御遺骨此度分骨

被致願望候、信仰之段、同心

仕願之趣、承引仕候、已後不敬

無之様、安置御崇敬有之候様

仕度、其旨約意無忘脚^④和親不

少仍而如件

旨

元治記元歳在甲子五月 誓安寺（黒印）

廿三世住

宏應善雄（花押）

濃州中嶋郡

東加賀野井村

太子堂 極楽寺

法恵

6 聖徳太子木像（南無仏太子像） 一躯

像高五七cm 『尾西市寺院什物調査報告書』より

本堂余間厨子前（御前立）

7 聖徳太子木像（南無仏太子像） 一躯

像高四八cm 『尾西市寺院什物調査報告書』より

本堂余間厨子内

愍重寺（真宗大谷派） 愛知県一宮市

二〇〇八年二月二日調査（安藤）

1 方便法身尊像 一幅（戦国時代・本願寺証如期）

縦九一・三cm×横三四・九cm 光明総計四八本 上六・下八

総高五二・三cm 身高三九・五cm 光輪幅一七・八cm

顔幅七・〇cm 肩幅一三・二cm 裾幅一五・〇cm

裏書（縦四一・二cm×横二二・九cm）

〔願寺釈証如方〕

〔勝万寺門徒

方便法身尊形

〕

*袈裟田相部の紋様はほとんど剥落。顔に後補の線がある。

陽願寺（真宗大谷派） 福井県福井市

二〇〇九年一月六日調査（小島 小山 渡辺 青木 安藤）

(一) 画像・名号・木像

1 十字名号 紙本墨書 一幅 戦国時代

(本紙) 縦八二・九cm×横三三・二cm

(周囲) 縦九〇・三cm×横三七・四cm

*寺伝では蓮如筆。実際は実如筆。合せ箱あり。

2 方便法身尊像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦五四・三cm×横二三・八cm 光明総計四八本 上六・下八

総高三八・三cm 身高二八・三cm 光輪幅一二・八cm

胸幅一〇・二cm 裾幅一一・五cm 裏書なし

3 方便法身尊像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦三五・七cm×横一六・〇cm 光明総計四八本 上六・下十

総高二〇・五cm 身高一三・八cm 光輪幅七・一cm

胸幅四・七cm 裾幅五・二cm

裏書（縦二九・八cm×横二五・二cm）

〔本願寺釈真如（花押）

方便法身尊像

願主積善休

「積尼妙休」

「積尼妙清」

4 方便法身尊像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦三三・六 cm×横一四・八 cm 光明総計四八本 上六・下一〇

総高二一・〇 cm 身高一四・二 cm 光輪幅六・八 cm

胸幅四・八 cm 裾幅五・七 cm

裏書(縦二八・九 cm×横一九・九 cm)

「本願寺積真如(花押)」

方便法身尊像

願主積⁽⁴⁴⁾秀

「積尼妙⁽⁴⁴⁾」

5 方便法身尊像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦三三・五 cm×横一五・二 cm 光明総計四八本 上六・下一〇

総高二〇・〇 cm 身高一三・七 cm 光輪幅七・一 cm

胸幅四・八 cm 裾幅五・三 cm

裏書(縦二七・二 cm×横二〇・八 cm)

「本願寺積真如(花押)」

方便法身尊像

願主積⁽⁴⁴⁾清

6 方便法身尊像 絹本着色 一幅 戦国時代(証如期)カ

縦三五・八 cm×横一六・五 cm 光明総計四八本 上八・下一〇

総高二三・四 cm 身高一六・六 cm 光輪幅八・九 cm

胸幅六・二 cm 裾幅六・八 cm *裏書なし

7 九字名号・十字名号 紙本墨書 二幅 江戸時代

縦三六・七 cm×横一四・五 cm 縦三六・八 cm×横一三・五 cm

*筆者不明 蓮台あり

8 六字名号 紙本墨書 一幅

縦三六・三 cm×横一二・五 cm 「無」の使用。浄土宗系か。

9 九字名号・十字名号 紙本墨書 二幅 江戸時代

縦三一・八 cm×横一五・二 cm 縦三一・八 cm×横一五・三 cm

*筆者不明 蓮台あり 西派表装

10 六字名号 紙本墨書 一幅 江戸時代

縦四五・八 cm×横一七・二 cm 「南無阿弥陀仏 徳本(花押)」

11 親鸞絵像裏書 紙本墨書 一幅 江戸時代

縦七〇・〇cm×横三八・三cm 現本堂安置物の裏書か

「 大谷本願寺釈常如(花押)

延宝二歳甲寅五月上浣書之

親鸞聖人御影

越前国足羽郡南居村

陽願寺常住物也

願主釈善順」

*延宝二年||一六七四 善順||陽願寺第十二代

12 親鸞絵像裏書 紙本墨書 一幅

縦三九・五cm×横二一・三cm

「 大谷本願寺釈顕如(花押)

親鸞聖人尊像

天正八載_{庚辰}十一月九日

越前国陽願寺

願主善幸

*天正八年||一五八〇 実際には後世作。

13 六字名号 紙本墨書 一幅 戦国時代(本願寺実如筆)

縦三四・二cm×横一三・三cm

下部に継ぎ足しあり(寸法にいれず)

14 聖教切二行 紙本墨書

「道光明朗超絶せり」「他力広大威徳ノ」

裏書

「覚如上人之真筆無疑宝物也

良如様先年被遊御一覽可致秘藏旨被仰出候

享保九年_{甲申}正月十九日 朱印 [] [] [] []

了清(花押)」

「蓮如上人之御真筆無疑宝物也

良如様先年被遊御一覽可致秘藏旨被仰出候

享_(マ)年_申三月廿五日 朱印 [] [] [] []

了清(花押)」

*享保九年||一七二四

15 聖教切二行 紙本墨書 一幅

「至心発願セルユヘニ」「照世盲冥故頂礼」

*No18と関係の対幅だが異筆。

16 伊達政宗書状 紙本墨書 一幅

縦三三・〇cm×横四七・二cm

「暮春廿三日 政宗(花押)」

裏書

「松平陸奥守殿御筆

弘化四丁未年補之

出雲路

常住物竜善台

木田表具屋 五郎兵衛 補之

*弘化四年||一八一七

*No20と対幅。

20 七高僧絵像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦一〇六・一cm×横四九・三cm

銘

「竜樹大士 善導大師 法然聖人

曇鸞和尚

天親菩薩 道綽禪師 源信僧都

裏書(縦六七・八cm×横二七・四cm)

「 釈

三朝高祖真影 足羽郡南居村

陽願寺什物也

願主 善□

18 聖教切二行 紙本墨書 一幅

「如来ノ法衣ヲツ子ニキテ」
「一切鬼神ヲアカムメリ」

*No15と関係の対幅だが異筆。

19 聖徳太子絵像 絹本着色 一幅 江戸時代

縦一〇六・一cm×横四八・三cm 讚「大慈大悲本誓願／愍念衆生

如一子／是故方便從西方／誕生片州興正法」

裏書(縦六八・六cm×横二八・五cm)

「聖徳太子真影 越前足羽郡南居村

陽願寺什物也

願主 善□

21 親鸞絵伝 絹本着色 四幅 江戸時代

裏書：東本願寺第十九代乗如。天明二年||一七八二

木箱上書(*撮影は木箱上書のみ)

「御絵伝 天明二年十一月朔日 越前国南居村 陽願寺

下間治部卿法印

大場斎院

22 香月院深励墨蹟（二行物） 一幅

縦一・二三・四 cm×横二・六・〇 cm

23 五乘院宝景墨蹟（二行物） 一幅

縦一・九・一 cm×横二・七・八 cm

24 南條文雄墨蹟（二行物） 一幅

縦一・五・〇・二 cm×横三・八・五 cm

(二) 聖教・典籍

25 実如証判御文 卷子装 一通

(本紙寸法) 縦二・六・〇 cm×横一・五七・五 cm

(表紙寸法) 縦二・六・〇 cm×横一・三・五 cm

26 宣如証判御文 卷子装 二通

(本紙寸法) 縦二・五・八 cm×横四・九・六 cm

(表紙寸法) 縦二・五・九 cm×横二・一・〇 cm

27 親鸞聖人略縁起 板木 一枚 (表裏)

縦三・〇・二 cm×横二・四・八 cm 「祖師聖人真影略縁起」

28 硯 一点

縦一・九・五 cm×横二・八 cm

29 硯 一点

縦一・五・〇 cm×横一・九・五 cm

30 念珠 一連

31 聖徳太子南無仏木像 一軀

像高二・八・八 cm

32 聖教切 一幅

縦二・二・五 cm×横一・六・三 cm

「徳ノイタラヌトコロナケレハ南無ノ機ト…」

本山誠照寺 (真宗誠照寺派) 福井県鯖江市

二〇〇九年一月七日調査 (小島 小山 渡辺 青木 安藤)

* 第二回調査 (二〇〇八年九月九日調査の補足調査。今後も継続予定)。

姫路船場別院本徳寺 (真宗大谷派) 兵庫県姫路市

二〇〇九年一月二三日調査 (青木 安藤)

* 予備調査（次夏に本格的調査予定）。

極楽寺（真宗大谷派） 愛知県一宮市

二〇〇九年三月三日調査（渡辺 安藤）

* 補足・追加調査で太子講式一卷（縦三四・五cm）を確認。

執筆者紹介

- 青木馨 (客員所員 同朋大学大学院非常勤講師)
脊古真哉 (客員所員 同朋大学非常勤講師)
武田龍 (客員所員)
青木忠夫 (客員研究員)
伊奈潔 (特別研究員)
中村薫 (同朋大学大学院教授)
飯田真宏 (特別研究員)
市野智行 (同朋大学大学院博士前期課程)
高橋良政 (日本大学教授)
小島恵昭 (研究所所長 同朋大学大学院教授)
池田勇諦 (同朋大学名誉教授)
小山正文 (研究所顧問)
金龍静 (本願寺史料研究所副所長)
田代俊孝 (同朋大学大学院教授 研究科長)
安藤弥 (所員 同朋大学講師)
藤 (所員 同朋大学講師)
Gyana Ratna (客員所員 愛知学院大学非常勤講師)

同朋大学佛教文化研究所紀要 第二十八号

平成二十一年三月二十五日 印刷

平成二十一年三月三十一日 発行

名古屋市中村区稲葉地町七―一
編集者 同朋大学佛教文化研究所

所長 小島恵昭

電話 〇五二―四一一―一三七三

発行所 同朋大学佛教文化研究所
印刷所 株式会社 一誠社